

平成 28 年度

事業報告書

社会福祉法人 穂波学園

障がい者支援施設 笠置寮

平成 28 年度 笠置寮事業報告

〔事業内容〕

18 歳以上の方が対象の施設です。一人ひとりの意思・人格・個性を尊重した個別支援、また、集団の中で社会参加に必要な生活習慣を学び、生産活動を通し協調性や責任感を身に付け、社会の一員として自立できることを目的として行いました。

〔定員〕 140 名

〔在籍者数〕

※単位（人）

	H28.4	H29.3
契約者数	138	137

〔職員数〕

※単位（人）

	定数	H28.4	H29.3
施設長	1	1	1
サービス管理責任者	3	3	3
支援員	47	52	52
看護師	1	2	2
管理栄養士	1	2	2
事務員	1	3	3
嘱託医	1	1	1
合計		64	64

〔主な事業内容〕

1. 入所者の日中活動支援（生活介護）及び夜間支援
2. 利用者会議
3. 行事
4. 健康管理
- 5～9. 各委員会活動
10. 職員各種研修研究活動の実施
11. 短期入所事業
12. 地域貢献・交流事業

◎入所・退所の状況

※単位(人)

	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
退所	男	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	退所後							障害者施設		障害者施設			
合計		138	138	138	138	139	139	138	138	137	137	137	137

◎年齢構成

※単位(人)

年齢(歳)	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～	計
男	2	9	12	20	18	15	9	0	85
女	5	6	6	3	9	12	10	1	52
合計	7	15	18	23	27	27	19	1	137

H29.3.31 現在

◎在籍年数

※単位(人)

在籍年数	1年未満	1～2年	2～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15～20年	20～30年	30～40年	40年以上	計
男	1	1	1	7	9	14	8	15	12	17	85
女	1	5	0	5	1	9	4	6	6	15	52
計	2	6	1	12	10	23	12	21	18	32	137

H29.3.31 現在

[職員の資格状況]

- 社会福祉士 1名
- 介護福祉士 14名 (内3名は28年度に取得)
- 精神保健福祉士 1名
- 教員免許 4名
- 看護師 3名
- 管理栄養士 2名
- 栄養士 1名

1. 入所者の日中活動支援（生活介護）及び夜間支援

◎日中支援

<第一活動場>

（活動内容）男性中心の活動場です。紙袋の作成・パッキン入れ（自動車部品）の活動を行っています。工程の中で一人一人に合った活動内容の提供を行い積極的に取り組んで頂ける様に支援を行いました。

※単位（人）

年齢区分	15～20歳	21～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61歳～	合計
人数	2	4	3	10	10	13	42

<第二活動場>

（活動内容）女性中心の活動場です。お茶やお菓子の紙箱折り・組立・お茶のセット加工を行っています。年齢や能力に応じた活動に参加して頂くことで意欲を持てるよう支援を行いました。

※単位（人）

年齢区分	15～20歳	21～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61歳～	合計
人数	5	5	3	3	2	12	30

<第三活動場>

（活動内容）男性中心の活動場です。ビニール袋加工を中心とした活動を行っています。袋たたみ・箱詰め・製品運び等、個人に合った内容の活動を提供し、得意な事を伸ばしていただく環境作りをし、支援を行いました。

※単位（人）

年齢区分	15～20歳	21～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61歳～	合計
人数	3	4	6	1	3	4	21

<農業科（園内・彼岸原）>

（活動内容）男性中心の活動場です。園内農業科においては、栗・シイタケ・花壇や植木等の整備を中心とした活動を行い、彼岸原農業科は自然薯・スイートコーン・白菜・大根・玉ねぎ等季節に応じた野菜の栽培・収穫等を行うことで自然との触れ合い、また収穫を楽しんで頂けるよう支援を行いました。

※単位（人）

年齢区分	15～20歳	21～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61歳～	合計
園内	1	0	2	1	2	1	7
彼岸原	0	3	1	1	1	2	8

<生活・クリーニング・食販>

(活動内容) 男性 2 名・女性 11 名の活動場です。生活・クリーニングに於いては、清掃の手順や洗濯物を畳み、生活寮に運ぶこと等、皆で協力し取り組めるように支援をしています。食販に於いては大きな声での挨拶や笑顔、衛生面を学び、地域の方々と食を通じ触れ合うことで社会性に繋がる支援を行いました。

※単位 (人)

年齢区分	15～20 歳	21～30 歳	31～40 歳	41～50 歳	51～60 歳	61 歳～	合計
男	0	0	1	1	0	0	2
女	2	1	1	1	2	4	11
合計	2	1	2	2	2	4	13

<介護センター>

(活動内容) 男性 11 名・女性 14 名の活動場です。機能訓練を中心に、ウォーキング・ラジオ体操・ストレッチ運動や玉さし・ペグさし・パズル・壁面製作・季節の飾り物製作で指先を使う活動を行いました。それと合わせ食事や歯磨き・排泄・入浴等日常生活の自立に向けた支援を行いました。

※単位 (人)

年齢区分	15～20 歳	21～30 歳	31～40 歳	41～50 歳	51～60 歳	61 歳～	合計
男	0	1	1	3	4	2	11
女	0	1	1	0	5	7	14
合計	0	2	2	3	9	9	25

◎夜間支援

- 起床～足腰の弱い方が多い為、起き上がりや布団たたみ等、又、カーテンを開けるのも、介助を必要としました。
- 着替え～ほとんどの方がボタン掛けやベルトの装着等の介助を必要とし、最後に整容の確認を支援員が行いました。
- 歯磨き～歯磨きは事前に口を漱ぎ、ブラシの持ち方、ブラッシングの仕方などの支援をしますが出来ない方が多く、必ず最後に磨き直しを行いました。
- 洗面～顔を洗った後に目やになどが残っていないか、顔の水気は残っていないか等、支援員が確認し、残っていれば介助を行いました。
- 食事～障害の特性に応じた食器の選別や、食べ溢し、箸を持たない方はスプーン使用や支援員が口まで運んで食べて頂く等、食事形態を配慮しました。又、義歯使用者、使用困難な方等、咀嚼が不十分な為、嚥下障害を起こさない様にきざみ、粥食等に変えて提供しました。食育の観点から栄養バランスを考え、行事食等を取り入れ、季節感を味わって頂く様にしました。

- 排泄～排泄の面に於いてもすべて介助を要する様になって来ています。特に高齢の方に於いては日中での失敗が増えてきていますので、排泄誘導の間隔を個人に合わせたものにしてオムツや尿取パットを使用しています。
- 掃除～居室内外の清掃を毎日行いましたが、箒や雑巾を持たれたままの方が多くなってきています。
- 入浴～毎日入浴を行い、洗体・洗髪の支援を行いました。身体を隅々まで洗う事や髪をまんべんなく洗うことが出来ない方が多く、洗い直しの支援を行いました。

2. 利用者会議

毎月利用者会議を行い、司会・記録を利用者様に候補を募り、議題も利用者様に話し合ってもらいます。内容としては「5月の連休でしたいこと」「外出で行ってみたい場所」「学園祭で楽しみにしていること」「風邪をひかない為にはどうすればよいか」「体育祭で頑張ること」等、一人一人が自分の思うことを発表し、言葉で表現できない方もジェスチャーで意思表示をして、会議に参加をされています。皆さんが決める議題は余暇の楽しい過ごし方が多いようです。利用者会議の中で出た要望に出来るだけ応えられるようにしています。

3. 行事

4月	開園記念式典・買い物外出・誕生会
5月	輪投げ大会・ボーリング大会・園内シアター・買い物外出・誕生会
6月	買い物外出・誕生会
7月	学園祭・夕食会・映画外出・七夕会・買い物外出・誕生会
8月	花火会・映画外出・プロ野球観戦（ヤフオクドーム）・カラオケ大会 買い物外出・誕生会（バイキング）
9月	ときめきスポーツ大会（久留米）・寮別誕生会・買い物外出・誕生会
10月	秋季体育大会・買い物外出・誕生会
11月	大家族旅行（四国方面）・買い物外出・誕生会
12月	マラソン記録会・餅つき・立喰うどん・学園コンパ（クリスマス会） 買い物外出・誕生会
1月	年賀式・成人祝賀会・（女性2名）・カルタ大会・風船羽子板 買い物外出・誕生会
2月	節分豆まき・観劇（リバウオーク）・バレンタイン・買い物外出・誕生会
3月	花見遠足・ひな祭り・ホワイトデー・買い物外出・誕生会（バイキング）

4. 健康管理

[目的]

年間を通し、心身ともに明るく健康的な日常生活を過ごして頂ける様に、日々の生活の中での観察をこまめに行いました。

(疾病の早期発見 早期治療)

手洗い、うがい、手指消毒の支援、1日2回の体温測定等で体調チェックを行い、顔色、食欲の有無等の異常はないか、常に状態を把握しながら変化があれば直ぐに通院をして診察を受けています。風邪で22名の方が通院されたが長引いたり蔓延する事は有りませんでした。

(清潔)

歯磨き、洗面、洗体、洗髪、手洗い、排泄後の後始末、髭剃り全てにおいて日々支援は必要です。

(運動・食事)

食事に関しては、栄養士の献立に基づいてバランスの良い食事を摂って頂いています。疾病のある方は医師の食事箋があり、その指示通りの支援を行っています。毎日の食事にヨーグルトを取り入れ、アレルギー疾患の症状が軽減しました。

運動に関しては体力維持の為に個人にあった運動や、楽しく取り組める様にリズムに合わせてのエアロビクス等を取り入れ骨密度の強化の為にストレッチとして1分間片足立ち等を毎日行い、骨密度が上昇した方もおられ成果も出ています。

(身体測定)

体重、血圧測定を毎月1回全員行い、体重の増減や血圧の変化がないか確認を行っています。体重の著しい増減は有りませんでした。

(健康診断)

胸部レントゲン・心電図・血圧・視力・聴力・内科・歯科・眼科・耳鼻科検診(年2回)、採血(4年毎)を受けました。その結果にて再検査や治療の必要な方に対しては、細かい部分まで医師に伝える事が出来、必要な検査を受ける事が出来ました。又、血圧に関しては上昇傾向にある方が増えてきました。今年度は、大きな病気に繋がるような結果はありませんでした。

(予防接種)

インフルエンザの予防接種を11月17日に全員受けました。うがいや手洗いの強化に加え徹底した室内の温度や湿度の管理、居室、活動場内の消毒を十分に行った結果、利用者様の中から1名もインフルエンザに罹患される方はおられませんでした。

(通院状況)

高齢化に伴う心身機能の低下が目立ってきています。転倒による怪我や、骨の老化に伴う圧迫骨折が有りました。本人様から訴えが無いことが多いので細やかな観察及び声掛け確認が必要でした。又、数名のダウン症の方に於いては急激な状態変化が見られ、精神科や総合診療科を受診しています。医師よりダウン症の方は、実年齢の倍の年齢と考えなければならぬと言われ、さまざまな病気に罹り認知症が出やすく進行も早いと言われました。実際に

認知症の薬が開始になった方もおられます。今後、ダウン症の方に於いては細やかな状態観察が必要となってきました。

5. 献立委員会

4月に嗜好調査を行い好きな食べ物苦手な食べ物の調査をすると共に毎月希望メニューの調査も行い翌月の献立に反映しています。

毎月行われる誕生会では飲み物の希望を聞いて、一人一人の好みに応じた物を準備しました。今年度は8月にインド、ネパール料理、3月は色々な丼物をテーマとした、バイキングでの誕生会を行いました。「初めて食べた」「おいしい」等の声も聞かれ笑顔で食事を楽しまれていました。

6. 苦情解決委員会

体制は第三者委員会と各寮リーダーです。苦情 要望件数は1件も発生しておりませんでした。

7. 虐待防止委員会

虐待防止委員会を年に3回(4月、8月、12月)行いました。協議事項が別に発生した場合にはその都度会議を開く様にしていますが、今年度においては有りませんでした。

4月には利用者様に対しての虐待の予兆や発生に対する気づきを高めるための「早期虐待発見チェックリスト」の記入を行い、4月に当法人施設長による勤続3年未満の支援員を対象とした「虐待防止研修会」、9月には顧問弁護士の荒巻氏より虐待に関する法人内研修を行って頂き学習すると共に、再確認をしています。

3月は職員を対象に無記名にて「虐待防止職員セルフチェックリスト」の記入を行い「緊急時には大きな声を出してしまった」「つい〇〇さんではなくあだ名で呼んでしまったことがある」「年上の方に対して〇〇ちゃんと呼んでしまったことがある」と数名の記入が有りました。内容の再確認を行い、意識を高めると共に今後は上記のような項目が無くなる様に会議にて話し合いを行っています。

8. 安全衛生委員会

毎月開催、安全衛生管理年間計画の作成、実施、評価及び改善を行い精神的健康の保持増進対策、自然災害及び防犯の対応と対策、快適な生活環境、職場環境の形成を促進する為の会議を行いました。

環境美化整備コンクールを今年は 5 月 27 日に行いました。利用者様と支援員が共に生活の場を心地よく過ごせるように皆で掃除等を行い、活動場や生活棟の巡回を行い、良いところ悪いところ等の評価を行っています。

安全対策としては火災、地震、水害、防犯等を想定した避難訓練を実施しました。

8 月 26 日に「津久井やまゆり園」で起きた事件を踏まえ防犯の意識を高める為に不審人物の侵入想定訓練を行いました。また、飯塚警察署より来園して頂き、園内建物の配置確認を行いました。その中で緊急時は 110 番からの通報が、いち早く駆けつけられるというお話を頂き、外部侵入者を予防する為にも、関係者以外侵入禁止の看板を入口 6 ヶ所に設置、学園周囲にフェンスの取り付けを行い、防犯カメラを 4 台増設し、合計 128 台のカメラ設置としています。

9. 平成 28 年度職員研修

(全国大会関係)

- ◇ 全国知的障害福祉関係施設長会
- ◇ 全国知的障害福祉関係職員研修大会
- ◇ 障害者支援施設部会全国大会

(九州大会関係)

- ◇ 九州社会福祉経営会総会
- ◇ 九州地区知的障害者関係施設職員研修大会
- ◇ 九州地区知的障害者関係施設長研修大会
- ◇ 九州地区障害者福祉協会児童発達支援部会
- ◇ 九州地区知的障害者日中活動支援部会研修会

(福岡県県内研修)

- ◇ 施設間交流会
- ◇ 障がい者福祉協会第一回総会・研修会
- ◇ 社会福祉施設役職員研修会
- ◇ 社会福祉法人経営セミナー
- ◇ 福岡知的障がい者福祉協議会新任研修
- ◇ メンタルヘルス対策セミナー
- ◇ 平成 28 年度食中毒予防講習会
- ◇ 行動援護従事者養成研修

- ◇ 労務管理研修
- ◇ 地域公益活動連携協議会 記念講演
- ◇ 社会福祉法人改革対応セミナー
- ◇ キャリアパス対応生涯研修課程
- ◇ 筑豊地区施設長・職員研修会
- ◇ 大規模災害対応セミナー
- ◇ 改正社会福祉法セミナー
- ◇ 要配慮者利用施設における土砂災害危険度情報配信システム導入説明
- ◇ サービス管理・児童発達支援管理責任者研修
- ◇ 平成 28 年度リスクマネジメント研修
- ◇ 触法障がい者研修会
- ◇ 社会福祉法人改革に伴う会計・財務セミナー
- ◇ 触法障がい者支援を考える
- ◇ 平成 28 年度第一回会員スキルアップ研修
- ◇ 平成 28 年度処遇記録研修
- ◇ 平成 28 年度管内栄養士（新任者）研修
- ◇ 社会福祉サービス事業所 直接処遇職員研修
- ◇ 社会福祉法人制度改革に関する勉強会
- ◇ 福岡県知的障がい者福祉協会総会
- ◇ 社会福祉施設役職員障がい者施設事業所職員研修
- ◇ 福岡県知的障がい者福祉協会福岡地区施設長会

(法人施設内研修)

- ◇ 新任職員・考課者研修（スキルアップ研修）
- ◇ 「虐待防止に関する勉強会」3 年未満勤続者対象
- ◇ キャリアパス対応生涯研修（フォローアップ研修）
- ◇ 法人内階層別キャリアパス研修
- ◇ 児童虐待防止法制度について
- ◇ 「虐待防止研修」全職員

10. 地域貢献・交流事業

(地域貢献事業)

- ※ 家庭裁判所から非行に陥った少年に対して社会福祉施設での社会奉仕活動をすることで、少年自身に思いやる心を育み、人間に対する愛情や関心を深めさせ社会の一員としての自覚を持たせる趣旨として、保護観察体験実習の受け入れ予定でしたが裁判所の都合で中止になりました。

- ※ 北九州市立特別支援学校北九州中央高等学園より施設での生活を実際に経験することにより集団の中での正しい行動及び生活習慣や作業実習、対人関係を学ぶ目的で宿泊勤労体験学習を3泊4日で行っています。(男性2名、女性2名)
- ※ ハローワーク主催の嘉飯山地区中学校特別支援学級就職準備講習会の受け入れを行い、今年は10月3日に25名の生徒さんと、保護者・教諭15名、ハローワークの職員2名で計32名の方が日中活動に参加されました。女性はお茶の箱折りや組み立て、男性は自動車部品の加工で一日有意義に過ごして頂きました。
- ※ 庄司自治会の事業として行われている高齢者に届けるお弁当の材料に当法人で収穫した野菜を無償で提供しました。

(地域交流事業)

- ※ 家族や地域の方との交流等の機会を確保する為に、花見遠足・学園祭・体育大会・餅つきの行事を行いました。
- ※ 4月15日・16日に発生した熊本地震は障害者関係施設にも甚大な被害をもたらし、施設利用者様の支援に必要な物資が不足との事で、支援物資の提供を他の施設・企業等に要請したところ、たくさんの物資が集まり、4月18日・19日・20日・25日の4回、直接現地の拠点となっている施設に届けに行ってきました。